

中国 国家水害防止総指揮部
指揮自動化システムプロジェクト

第5回プロジェクト合同委員会
会 議 資 料
(日 本 語)

1997.12.19

中国国家水害防止総指揮部指揮自動化システムプロジェクト
第5回プロジェクト合同委員会会議資料目次

1. 合同委員会議事次第
2. 中国側合同委員会委員名簿
3. 中国側合同委員会列席者名簿
4. 終了時評価調査団中国側協議団団員名簿
5. 日本側合同委員会委員名簿
6. 日本側合同委員会オブザーバー名簿
7. 終了時評価調査団団員名簿
8. 中国側プロジェクト事業報告
 - 8-1 プロジェクト業務報告
 - 8-2 1993年度～1997年度予算執行状況
 - 8-3 カウンターパートリスト
 - 8-4 固定資産リスト
9. 日本側協力活動報告
 - 9-1 協力活動について
 - 9-2 1993年度～1997年度プロジェクト活動実施状況
 - 1 専門家派遣一覧
 - 2 カウンターパート研修
 - 3 供与機材リスト
 - 4 ローカルコスト

中国国家水害防止総指揮部指揮自動化システムプロジェクト

第 5 回 日 中 合 同 委 員 会

日 時：1997年12月19日（金）

9：00～11：10

場 所：水利部庁舎14階大会議室

次 第

- | | | |
|------------------------|-------|------------------------------|
| (1) 委員長挨拶 | 沈 国衣 | プロジェクト合同委員会委員長
水利部国際合作司司長 |
| (2) 日本大使館挨拶 | 烏村 喜一 | 日本大使館経済部二等書記官 |
| (3) プロジェクト事業報告 | 謝 邦澤 | プロジェクト弁公室主任 |
| (4) 日本側協力活動報告 | 鎌田 照章 | 日本専門家組チーフアドバイザー |
| (5) 評価調査結果報告 | 柏谷 晋一 | 終了時評価調査団団長 |
| (6) 中国側協議団報告 | 沈 国衣 | 中国側協議団団長 |
| (7) 全体討議 | | |
| (8) プロジェクト外指導小組常務副組長挨拶 | 趙 春明 | 国家水害防止弁公室副主任 |
| (9) 国家科学技術委員会代表挨拶 | 姜 小平 | 国家科学技術委員会日本処官員 |
| (10) JICA中国事務所挨拶 | 新井 明男 | JICA中国事務所次長 |
| (11) 閉会の辞 | 鄭 如剛 | 水利部国際合作司副司長 |

第 5 回 日 中 合 同 委 員 会 中 国 側 委 員 名 簿

沈 国衣	プロジェクト合同委員会委員長 水利部国際合作司 司長
趙 春明	プロジェクト指導小組常務副組長 国家水害防止総指揮部弁公室 副主任
陳 徳坤	プロジェクト指導小組常務副組長 水利部水利情報センター 主任
鄭 如剛	水利部国際合作司 副司長
姜 小平	国家科学技術委員会 官員
謝 邦澤	プロジェクト弁公室 主任
章 凌	水利部国際合作司 処長
宋 徳武	章衛南運河管理局プロジェクト外弁公室主任 章衛南運河管理局 副局長

第 5 回 日 中 合 同 委 員 会 中 国 側 列 席 者 名 簿

- | | |
|-------|---|
| 富 曾 慈 | プロジェクト弁公室副主任
国家水害防止総指揮部弁公室 副総工程師 |
| 宋 建 勤 | プロジェクト弁公室副主任
水利部水利情報センター 副主任 |
| 孫 桂 華 | プロジェクト弁公室副主任
水利部水利情報センター 教授級高級工程師 |
| 辛 立 勤 | プロジェクト弁公室副主任
水利部水利情報センター 処長 |
| 呉 濃 娣 | 水利部国際合作司 官員 |
| 史 良 如 | 章衛南運河管理局プロジェクト外弁公室副主任
章衛南運河管理局 副総工程師 |

終了時評価調査団中国側協議団 団員名簿

沈 国衣	プロジェクト合同委員会委員長 水利部国際合作司 司長
趙 春明	プロジェクト指導小組常務副組長 国家水害防止総指揮部弁公室 副主任
陳 徳坤	プロジェクト指導小組常務副組長 水利部水利情報センター 主任
謝 邦澤	プロジェクト弁公室 主任
章 凌	水利部国際合作司 処長
宋 徳武	章衛南運河管理局7°07'1外弁公室主任 章衛南運河管理局 副局長
呉 濃娣 (通訳)	水利部国際合作司 官員

第 5 回 日 中 合 同 委 員 会 日 本 側 委 員 名 簿

松沢 憲夫	J I C A 中国事務所 所長
新井 明男	J I C A 中国事務所 次長
魚屋 将	J I C A 中国事務所 所長助理
万 紅	J I C A 中国事務所 職員
鎌田 照章	プロジェクト長期専門家 (チーフ・アドバイザー)
富樫 妙子	プロジェクト長期専門家 (業務調整員)
山田 哲夫	プロジェクト長期専門家 (水 文)
池部 憲次	プロジェクト長期専門家 (電気通信)

第 5 回 日 中 合 同 委 員 会 オ ブ ザ ー バ ー 名 簿

- | | |
|-------|---|
| 柏谷 晋一 | 終了時評価調査団団長
建設省河川局河川計画課河川情報対策室長 |
| 森重 卓雄 | 終了時評価調査団団員（電気通信）
建設省建設経済局調査情報課電気通信室建設専門官 |
| 安部 友則 | 終了時評価調査団団員（洪水予測）
（財）河川情報センター研究第二部長 |
| 末吉 滋 | 終了時評価調査団団員（情報処理）
（財）河川情報センター研究第三部主任研究員 |
| 洲崎 毅浩 | 終了時評価調査団団員（協力企画）
国際協力事業団社会開発協力部一課職員 |
| 園田 元 | 終了時評価調査団団員（評価分析）
アイシーネット（株）コンサルティング部 |
| 田中 久子 | 終了時評価調査団団員（通訳）
（財）日本国際協力センター |
| 島村 喜一 | 駐中華人民共和国日本大使館経済部 二等書記官 |

終了時評価調査団団員名簿

団 長	柏谷 晋一 (KASUYA Shinichi) 建設省河川局河川計画課河川情報対策室長
電気通信	森重 卓雄 (MORISHIGE Takuo) 建設省建設経済局調査情報課電気通信室建設専門官
洪水予測	安部 友則 (ABE Tomonori) (財) 河川情報センター研究第二部長
情報処理	末吉 滋 (SUEYOSHI Shigeru) (財) 河川情報センター研究第三部主任研究員
協力企画	洲崎 毅浩 (SUSAKI Takehiro) 国際協力事業団社会開発協力部一課職員
評価分析	園田 元 (SONODA Hajime) アイシーネット(株)コンサルティング部
通 訳	田中 久子 (TANAKA Hisako) (財) 日本国際協力センター

プロジェクト1996年6月～1997年12月事業報告

中国国家水害防止総指揮部指揮自動化システムプロジェクト弁公室

謝 邦 澤

1997年12月19日

ご来賓の皆様、委員の皆様、代表の皆様：

ただいまより、中国国家水害防止総指揮部指揮自動化システムプロジェクト弁公室を代表し、1996年9月から1997年12月までの事業総括及び1998年上半期の事業計画をご報告いたします。

昨年8月22日に、第四回日中合同委員会が開催されてから、一年四か月が経ちました。この間、日中双方の密接な協力により、章衛南運河流域洪水予測分野において、予定どおりの成果を上げ、97年6月上旬には、テレメータシステムの据え付け調整を完了し、テストランも順調に行われております。中央洪水防止情報処理分野においても、入力サブシステム、データベース、図形データベース、リアルタイム洪水情報監視サブシステム、水防会議表示サブシステム、検索サブシステム、気象サービスサブシステム等の開発が完了しており、章衛南運河マイクロ通信分野においては、今年度に入って、運営管理を強化し、管理業務は軌道に乗っており、設備の定期維持保守点検を実施し、設備の正常運転を確保しました。以下ご報告いたします。

1996年9月から1997年12月までの事業報告及び1998年上半期事業計画

1. 章衛南運河マイクロ通信運営及び保守

日中技術協力JICA“德州・岳城間マイクロ通信回線”は海河流域における唯一の回線であるとともに、日中協力の成功プロジェクトでもあります。また、国内外において、大きな影響があり、高い評価を得ています。同通信回線は、1995年10月の正式に開通した後、96年8月の大洪水では、非常に重要な役割を果たしました。増水期の通信量は1万2千回余りに達し、全回線の情報伝達が、安全、確実、迅速かつ正確に行われ、大きな社会的、経済的効果が得られました。

97年度は、まず技術者の研修に重点を置き、2名が日本での研修に派遣されたほか、西安電子科学技術大学、海河水利委員会研修センターにおいて、技術講義が行われました。これらの研修を通して、通信分野における現在の発展の趨勢や移動通信の技術について、全体的な理解がなされました。日本側専門家のご指導のもと、日本側から供与された設備の機能を理解し、マイクロ通話路調整の要となる技術を把握し、マイクロ設備の点検過程について習熟することができました。また、マイクロ局ごとの技術者に対し、日常操作の研修が行われ、各担当者の技術水準が大きく向上しました。さらに、日本側専門家のご指導のもと、マイクロ運行の資料整理が行われ、専門家と積極的に協力しあい、二年間の運行経験をとりまとめ、同回線をさらに完璧なものにするため、マイクロ回線の現時点

での不備な部分を調査しました。その総合効果により、中日技術協力の結晶となるよう全力を尽くしました。

同通信回線をより効果的に利用すべく、大量の技術的作業を行うほか、マイクロ通信運行及び維持保守管理業務を強化しました。ある局では、技術者を増員し、日毎の検査、週間検査を強化し、備品庫及び故障修理書類保管庫を整備し、全てのマイクロ資料のデータベースを作成しました。すでにコンピュータ入力済で、二ヶ月に一度巡回検査を行っており、各管理業務は軌道に乗っています。

2. 章衛南運河流域洪水予測システム及びテレメータシステム

1996年9月から1997年11月までのプロジェクト水文分野の全ての業務は「章衛南運河流域洪水予測システム」整備について行われ、以下の内容が完成されています。

(1) 日本側本多短期専門家と中国側カウンターパートの密接な協力の下、1963年、1982年の既往洪水資料により、モデル流域の岳城ダム上流貯留関数モデルの同定及びモデル改良を完了しました。

(2) 章河岳城ダム下流、衛河元村下流から四女寺河道のS-Q曲線算定と作図を完了しました。

(3) 遠藤短期専門家とカウンターパートは、(2)の河道測量成果を基に、1963年、1982年の既往洪水により、衛河元村下流、章河岳城ダム下流四女寺間の貯留関数モデルのパラメータ同定及びモデルの改良を行いました。を完了しました。衛河元村上流を除いて、全流域の貯留関数モデルのパラメータ同定が完了しており、検討と改良を経たのち、良好な成果を、実際の予測に用いることとなります。

(4) 流域の新安江モデル同定及びインターフェース開発を完了しました。

(5) 衛河元村上流以外の全流域の1996年水文資料整理を完了しました。

(6) 全流域の経験モデル開発検討を完了しました。

(7) 衛河長虹渠遊水池の地形測量及び1963年、1996年氾濫解析資料整理を完了しました。

(8) 章衛南運河洪水予測システムは、当初の計画では今年の出水期にテストランを行うことになっていましたが、出水期に大洪水が発生しなかったため、1996年の洪水資料により、貯留関数モデルと新安江モデルについて、検証のみを実施しました。

また、章衛南運河管理局の工事管理処、河海大学常州分校、西安理工大学、大連理工大学などのスタッフからなる情報処理システムソフトウェア開発が行われ、詳細な一次処理を通して、データベース及び情報サービスソフトウェア開発及び情報三次処理集積後、章衛南洪水予測情報処理システムは基本的に整備されました。現在、郵電部CHINA PACにより、海河水利委員会からいつでも本流域のリアルタイム情報アクセスができるようになりました。情報検索及び既往洪水資料との対比を容易にし、水防意思決定に二時間以上の予測時間を確保するため、鮮明な画面を提供し、情勢解析、科学的水防予測案の作成、リ

アルタイム意思決定案作成に役立てています。本システムは取扱いが簡単で、応答が迅速で良好な汎用性と高い鮮明度のユーザインターフェースがあるため、章衛南運河管理局の水防意思決定レベルを新たな段階へと向上させ、プロジェクト任務書（役割分担書）の要求を基本的に満たしています。

現在、運行中に現れた問題点に対しては、集中的に解決、改善、向上を図り、技術文書を整えており、来春の水利部プロジェクト弁公室の換収を一度で通過できることと思われま

す。
章衛南運河水文テレメータモデル地域は、蔡小庄、元村、南陶、臨清、四女寺などの水文5局と、魏県、館陶、臨清などの中継3局及び德州センター局がありますが、山東、河南、河北の三省に分散されているため、工程管理が困難です。土木工事期間中には、岳城ダムからの2回にわたる放流と、衛河の大量の基底流量に遭遇しました。しかし、施工担当部門は、堰を築いたり、基礎杭の浸透水を排水したり、流水土砂と戦い、様々な方法で、観測井戸のコンクリート注入などの品質を保全したことにより、計画通りに土木工事を完了しました。

据え付け調整担当者たちは、謙虚に日本側専門家に学び、その技術的要求に基づき、6月上旬に据え付け調整を繰り上げて完了しました。テレメータ試運転でいくつかの問題点が現れ、運行を妨げましたが、日本側専門家のご努力により、適時に対策をとり、機器を交換し、試運転の順調な進捗を確保しました。JRCよりの川岸短期専門家、山田長期専門家、池部専門家は、酷暑にも関わらず、寝食を忘れ、現場での業務を行われました。観測井戸の汚水のおいが強かったのですが、少しも気にすることなく、必要な時にはいつでも井戸の中で自ら操作を行われました。また、10月には小田島短期専門家が、中国側技術者とともに、テレメータシステムについて、全面にわたる詳細な保守点検を行いました。日本側専門家は、面倒がらずに数回にわたる技術移転、事前講義、模範実技、質疑応答を行われました。このような熱心な仕事への取り組み方、指導の仕方は、中国側技術者に深い印象を与えました。

日中双方及び関係省市の密接な協力こそ、テレメータモデル地域整備成功の鍵です。今年の出水期には、洪水が発生せず、モデル流域の効果を十分に示すことはできませんでしたが、テレメータモデル流域の整備により、章衛南運河の主河川においての、長年来の情報伝達不備のマイナス局面が抜本的に改善され、章衛南運河の水防指揮操作、工程施設管理水準の向上、強化に積極的な役割を果たすと確信しております。

3. 中央水害防止情報システム

中央水害防止情報システム分野においては、今年以下のような成果が得られました。

(1) 入力処理サブシステム

今年の出水期直前に、水利情報センターの二台のVAX機に加え、二台のALPHA機を追加し、主にALPHA機により洪水防止情報の受信処理を行い、すでに電報受信、暗号翻訳

プログラム移植及び情報書き込みデータベースプログラム開発と試運転を行い、章衛南運河管理局とのオンライン調整を完了しました。

(2) データベース

ソフトウェアの整合のため、数カ月わたるバージョンアップ作業を行い、すでにデータベース構築、グラフ構造作成、入力データ転換作業を完了しました。本プロジェクト購入のFUJITSUサーバー機の操作システムや、SYBASEのバージョンなどの問題で、今年の出水期には、応用データベースで他のサーバーを使用しました。現在はFUJITSUサーバー機において開発用データベースフォーマーションが可能となり、データベース開発作業が進められています。

(3) 図形データベース

図形データベース開発はFUJITSUサーバー機におけるデータベース構築をおおむね完了し、他のサブシステムコールのための関数を開発し、今年の出水期で、一定の効果を上げました。現在は、図形資料の補填及び異なる応用サブシステムに必要なデータフォーマット転換作業を行っています。

(4) リアルタイム洪水情報監視サブシステム

今年の出水期前までに、水文情報監視室の内装及びリアルタイム洪水情報監視サブシステムソフトウェア開発を完了し、七大流域におけるリアルタイム洪水情報監視機能を実現しました。同システムは、EWSとUNIXパソコンの二種類のハードウェアプラットフォーム上に構築し、今年の出水期の運行で成果を上げました。

(5) 水防会議表示サブシステム

パソコンMAPINFOバージョンにより行われる水防会議表示サブシステム開発作業は、完成間近で、すでに大部分の機能モジュール作成が終わり、近くシステムの開発調整を行う予定です。

(6) 検索システム

すでに水文情報、警報情報、簡易報告、グラフ式報告などの検索プログラミングが終わり、今年の出水期に部分的に試運転した結果、よい効果が得られました。現在開発作業を引き続き行っていますが、今月末までに開発は終了し、資料整理に着手します。

(7) 気象サービスシステム

気象予報及び水文情報雨量データの受信処理改良、気象データベース整備、気象情報加工処理プログラムを完成しました。現在は気象応用製品の検索プログラム開発を行っています。

4. 訪日研修及び技術交換

1997年9月16日、中国側は四人の訪日研修生を派遣して、日本の通信、洪水予測、情報処理などの各分野における先進技術及び管理手法を学んでいます。

5. 97年上海「非構造物洪水防止対策」国際セミナー

97年非構造物洪水防止対策国際セミナーが97年11月11日から13日まで3日間、上海で開催され、世界8か国から60名ほどの専門学者が参加しました。セミナーでは、「水文情報の収集伝達及び処理」「洪水予測」「水害防止及び災害軽減」「洪水防御対策及び評価」「非構造物洪水防御対策企画展望」の五つのテーマで、39編の学術的価値のある論文が発表され、予定の成果が得られました。

6. 1998年事業計画

情報処理分野：引き続き中央水害防止情報処理システムの部分的開発を実施し、98年2月までに全ての開発業務を、3月末までに、技術文書整理を完了し、章衛南運河情報処理システムの更なる改良と洪水防御工程データベース資料を引き続き収集、入力し、章衛南運河洪水予測ソフトウェアの学習、据え付け、試運転を実施して、章衛南運河洪水防御指揮操作案ソフトウェアをさらに完備します。

テレメータ分野：章衛南運河テレメータモデル流域の運営、維持保守管理を強化し、技術者を組織し、テレメータシステムでよく生じる故障対応技術等を習得する定期研修を実施します。

マイクロ分野：マイクロ回線の正常運行と保守管理を確保し、少数局のSD化のための設計及び設備注文、対雷措置の改良、監視システム技術研修を行います。

水文分野：引き続き長虹渠遊水池洪水氾濫解析を行い、貯留関数成果を総括（フィードバック機能の付加など）し、章衛南運河洪水予測システムの技術報告書（洪水予測システムの試運転報告、検討報告、モデル報告を含む）を提出し、予測モデルを改善して、章衛南運河管理局において、洪水予測システムの据え付け及び研修を実施します。

最後になりますが、プロジェクト弁公室を代表し、日中双方の関係上部指導部門の当プロジェクトに対するご指導、ご配慮、ご支援に心からの感謝の意を表すと同時に、日本側専門家チームの専門家方の熱心な活動に感謝の意を表します。

ありがとうございました。

中国側93～97年度予算執行状況

1. プロジェクト管理運営費

(単位：万元)

番号	名 称	93年度投入	94年度投入	95年度投入	96年度投入	97年度投入
1	人件費	6.00	10.00	12.60	13.70	14.45
2	家賃	21.00	42.00	42.00	42.00	42.00
3	車輛維持管理費	12.00	36.00	11.07	14.80	16.00
4	一般事務費	2.00	3.00	7.63	9.83	11.20
5	通信費	4.00	5.00	5.01	6.80	8.60
6	会議費	3.50	4.00	7.92	10.08	17.80
7	出張旅費	4.00	4.00	6.38	7.27	8.20
8	設備維持費	2.30	3.00	4.61	12.00	14.50
9	電気代	1.50	3.00	3.50	4.80	5.35
10	機材引き取り費 ※	10.00	—	9.97	15.78	18.25
11	電波発射式及びセミナー開催費	—	—	16.80	—	—
計		66.30	110.00	127.49	137.06	156.35
総 計		597.20				

※機材引き取り費には、税関の滞納金、罰金、国家無線電委員会の検査費を含む。

2. 情報処理及び水文分野

(単位：万元)

番号	名 称	93年度投入	94年度投入	95年度投入	96年度投入	97年度投入
1	中央システム整備	—	100.00	140.00	225.00	168.77
2	ネットワーク整備	—	—	25.00	60.00	25.00
3	水文資料収集整理	—	—	212.00	113.00	35.00
4	章衛南洪水予測	—	—	70.00	80.00	40.00
5	章衛南システム整備	—	—	—	—	60.00
計		0.00	100.00	447.00	478.00	328.77
総 計		1,353.77				

3. 章衛南運河管理局マイクロ通信及びテレメータ据付工事

(単位：万元)

番号	名 称	93年度投入	94年度投入	95年度投入	96年度投入	97年度投入
1	一般事務費	15.00	13.00	13.50	15.80	17.00
2	通信、テレメータ測量設計	82.00	78.00	74.00	87.00	50.00
3	土木工事(局舎)	—	139.00	133.64	300.00	80.00
4	鉄塔	—	234.00	240.16	—	—
5	電源	—	244.00	219.80	185.00	15.00
6	交換機	—	139.00	276.00	145.00	—
7	監視システム	—	—	20.00	35.00	—
8	工事検収	—	—	16.00	21.00	5.80
9	据付調整	—	90.00	78.80	89.00	25.00
10	研修、管理その他	—	—	80.00	30.00	10.00
計		97.00	937.00	1,151.90	907.80	202.80
総 計		3,296.50				

プロジェクト弁公室メンバーリスト

1997.12.19

氏名	チーム名	職務	所属単位	電話番号
謝 邦 澤	プロジェクト弁公室	主任	水利部水利情報センター	63203353
富 曾 慈		副主任	国家水害防止総指揮部弁公室	63202499
孫 桂 華		副主任	水利部水利情報センター	63202430
宋 建 勛		副主任	水利部水利情報センター	63202418
辛 立 勤		副主任	水利部水利情報センター	63203355
章 凌		メンバー	水利部国際合作司	63202708
陳 群 香		メンバー	水利部計画司	63202782
高 軍		メンバー	水利部財務司	63203144

プロジェクトカウンターパートリスト

1997.12.19

氏名	チーム名	職務	専門分野	部屋番号	電話番号
趙建国	管 理 組	組長		436	63203359
張英		副組長		404	63203358
裴莹		事務員		436	63203360
陳清		經理		404	63203358
尹寿蘭		通訳		436	63203433
崔美花		通訳		436	63203433
王良和		通訳		436	63203359

章衛南運河管理局プロジェクトカウンターパートリスト

1997.12.19

氏名	チーム名	職務	専門分野	電話番号	備考
宋徳武	章 衛 南 プ ロ ジ エ ク ト 弁 公 室	主任	水工	5107	
史良如		副主任	水文	5130	
徐曉東		組長	電気通信	5118	
張興玉		メンバー	水工	5110	
張曉傑		メンバー	水文	5137	
張清保		メンバー	電気通信	5128	
陳継東		メンバー	水文	5132	
劉洪武		メンバー	電気通信	5116	
何宗濤		メンバー	電気通信	5304	
劉新華		メンバー	電気通信	5304	
辛全民		メンバー	電気通信	5304	
耿高峰		メンバー	情報処理	5132	
劉偉		メンバー	電気通信	5116	
尹法		メンバー	情報処理	5132	
孔珂		メンバー	情報処理	5304	
武震		メンバー	電気通信	5304	
劉金翠		メンバー	水文	5132	
○虹霞	メンバー	水文	5132		

プロジェクトカウンターパートリスト

1997.12.19

氏名	チーム名	職務	専門分野	部屋番号	電話番号
陳朝輝	情報	技術代表	ソフト		63202451
辛立勤		組長	ソフト・ハード	403	63203355
司双見		メンバー	ソフト・ハード	403	63203351
陳嵐		メンバー	オートメーション		63202204
呉礼福		メンバー	図形管理	401	63203351
範作江		メンバー	図形管理	403	63203351
王年龍		メンバー	ハード	401	63203351
張維華		メンバー	データベース		63202452
黄葳青		メンバー	ソフト	401	63203351
毛学文		メンバー	水情会議		63202461
戚建国	処理組	メンバー	気象		63202410
王琳		メンバー	気象		63202410
劉志雨		メンバー	水情検索		63202523
程益聯		メンバー	ネットワーク		63202452
周維統		メンバー	ネットワーク		63202554
張瑞芳		組長	水文		63202523
章四龍		メンバー	資料分析		63202462
周砺		メンバー	資料分析		63202462
李健		メンバー	ソフト開発		63202486
胡亜林		メンバー	水害防止指揮		63202491
李坤剛	メンバー	水害防止指揮		63202491	
王秀英	電気通信組	組長	電気通信		63202502
彭若能		副組長	電気通信		63202415
張玉功		副組長	電気通信		63202430
鮑智良		メンバー	電気通信		63203434
郭雷		メンバー	電気通信		63202416

プロジェクト固定資産明細表（表1）

単位：万円

番号	種 類	日 時	数 量	単 価	合計金額	保 管 先	備 考
1	家具類						
	金庫	1993. 8.25	1	1.2	1.20	プロジェクト弁公室	
	事務机 (大)	1993. 8.25	10	0.1	1.00	プロジェクト弁公室	
	書棚	1993. 8.25	10	0.022	0.22	プロジェクト弁公室	
	事務机 (小)	1993. 8.25	16	0.058	0.928	プロジェクト弁公室	
	椅子	1993. 8.25	26	0.022	0.572	プロジェクト弁公室	
	ソファ	1993. 8.25	10	0.165	1.65	プロジェクト弁公室	
	書類棚	1993. 8.25	10	0.076	0.76	プロジェクト弁公室	
	サイドボード (大)	1993. 8.25	3	0.037	0.111	プロジェクト弁公室	
	サイドボード (小)	1993. 8.25	10	0.026	0.26	プロジェクト弁公室	
	ロッカー	1993. 8.25	10	0.029	0.29	プロジェクト弁公室	
	浄水器	1993. 8.25	2	0.057	0.114	プロジェクト弁公室	
2	コンピュータ						
	486/33ノート型PC	1993.12.30	3	2.50	7.50	プロジェクト弁公室	
	AST 486/33	1993.12.30	1	3.30	3.30	プロジェクト弁公室	
	486PC	1995. 6.	8	5.00	40.00	水利情報センター	
	386PC	1995. 6.	2	2.50	5.00	水利情報センター	
	コンピュータ付属品	1995.12. 3			0.35	プロジェクト弁公室	
	大スクリーン	1997.11.28	1	15.25	15.25	水利情報センター	
	586/166PC	1997.11.28	4	3.50	14.00	水利情報センター	
	HUB	1997.11.28	1	4.9391	4.9391	水利情報センター	
	コンピュータ付属設備	1997.11.28			14.579	水利情報センター	
3	電気機器類						
	電子レンジ	1993. 8.25	2	0.245	0.49	プロジェクト弁公室	
	MSH17DC エアコン	1993. 8.25	9	1.40	12.60	プロジェクト弁公室	
	MSH3G6 エアコン	1993. 8.25	1	2.85	2.85	プロジェクト弁公室	
	88L型冷蔵庫	1993. 8.25	1	0.177	0.177	プロジェクト弁公室	
	181型冷蔵庫	1993. 8.25	1	0.21	0.21	プロジェクト弁公室	
	電話機	1993.12.21	3	0.067	0.201	プロジェクト弁公室	
	29インチ型テレビ	1993.12.30	1	0.96	0.96	プロジェクト弁公室	
	SONY A77型ステレオ	1993.12.30	1	1.109	1.109	プロジェクト弁公室	
	レーザーディスクプレーヤー	1993.12.30	1	0.57	0.57	プロジェクト弁公室	
	ビデオデッキ	1993.12.30	1	0.40	0.40	プロジェクト弁公室	
	KX-90型FAX	1993.12.30	1	0.60	0.60	プロジェクト弁公室	
	エアコン	1994. 4.31	5	1.51	7.55	プロジェクト弁公室	
	車載電話	1994. 8.19	2		3.00	プロジェクト弁公室	
4	その他						
	6500W発電器		1	1.64	1.64	プロジェクト弁公室	
	発電器 (ガソリン)	1993. 8.13	1	1.6776	1.6776	プロジェクト弁公室	
	小 計				146.0527		
	総計 (表1・表2)				1,531.0527		

プロジェクト固定資産明細表（章衛南マイクロ通信機材）（表2）

単位：万元

番 号	種 類	日 時	数 量	総 額	管理責任者
1	鉄塔		378トン	419	宋徳武
2	機械室（8か所）	1995.4.	総面積2,000㎡	244	＃
3	組立電源	1995.4.31	8セット	74	＃
4	バッテリー	1995.4. 3	16組	106	＃
5	交換機及びケーブル	1995.4.19	2台/10本	107	＃
6	変圧器	1995.2.	5台	50	＃
7	発電器（ディーゼル）	1995.3.	7台	30	＃
8	エアコン	1995.4.	31台	25	＃
9	配電設備	1995.4. 5	16台	20	＃
10	無停電電源装置（UPS）	1995.4.	8台	15	＃
11	車輛	1995.5.	2台	28	＃
12	通信及び電源関連器具	1995.5.		120	＃
13	家具	1995.4. 9		22	＃
14	計算機室	1996.5	総面積100㎡	30	
15	テレメータ局舎等	1997.4		80	
16	電源	1997.4	5セット	15	
小 計				1,385	

技術協力活動について

中国国家水害防止総指揮部
指揮自動化システムプロジェクト
チーフアドバイザー 鎌田照章

本日、第5回目の日中合同委員会が開催されるにあたりまして、日本専門家チームの立場から委員の皆様にご報告させていただきます。

本プロジェクトは、93年6月に始まり、4年6ヶ月が過ぎました。残すところ、あと5ヶ月あまりです。第4回の合同委員会は、昨年8月に開催されました。その後の1年4ヶ月を振り返ってみますと水文、電気通信、情報処理の各分野で多くの成果がありました。これもひとえに、本日もご参会頂いております中国側の国家科学技術委員会、水利部、国家水害防止総指揮部弁公室、水利情報センター、プロジェクト関係者及び日本側の国際協力事業団本部・中国事務所、建設省、日本大使館、河川情報センター、国内委員会等関係者の皆様方の暖かいご指導の賜物として、心から厚くお礼申し上げます。

さて、プロジェクトの総括報告は、既に謝プロジェクト弁公室主任からなされていますので、私からは、日本側の技術協力活動を中心に報告させていただきます。

1. 技術協力活動実績報告（1996年9月～1997年12月）

1) 長期専門家及び短期専門家の活動について

技術移転活動の中心的役割は専門家が担っております。長期専門家は、富樫妙子業務調整員、山田哲夫水文専門家、池部憲次電気通信専門家、私の4人体制でやってきました。

また、短期専門家としては、本多和彦水文専門家（96年10月23日～97年1月17日）、遠藤哲雄水文専門家（97年3月24日～97年6月13日）、上田将也情報処理専門家（96年10月21日～96年12月27日）、川岸敏明電気通信専門家（97年1月2日～97年6月27日）の4名が派遣され、96年度はセミナー講師も合わせて計8名の短期専門家が派遣されました。

97年度は、これまで小田島明德、遠藤勇電気通信専門家（97年9月22日～97年11月21日）、大西光陽水文専門家（97年9月22日～97年12月19日）、本多和彦水文専門家（97年10月20日～97年10月31日）の4名が派

遣されています。

分野別に見てみますと、水文分野においては、96年10月にC/Pとの間で活動計画の見直しを行いました。これに基づき、以下の活動をいたしました。

- ① 岳城ダム上流域の貯留関数法による流出特性に応じたモデルの改良とフィードバック機能の開発
- ② 章河の蔡小庄～岳城ダム間の河道測量及び5つのテレメータ観測局の96年8月洪水による河床変動測量。
- ③ 国家管理河道（336km）の河道特性解析として、不等流計算による貯留関数のパラメータ及び河道流下能力の算定
- ④ 国家管理河道を対象にした貯留関数法による細分化バンドモデルの作成及び1982年、1963年の主要2洪水によるパラメータの同定並びにモデルの改良。
- ⑤ 洪水予測モデル検証のため、96年8月洪水の水文資料収集及び図化とファイル作成。
- ⑥ 現在、⑤の成果を用いて、開発済みのモデルの検証と再同定を行い、フィードバック機能の必要性を確認。引き続き、河道モデルのフィードバック機能の開発と他のモデルを加えた予測選択システムの効果を検討中。
- ⑦ 洪水氾濫解析の基礎データとして、長虹渠遊水池をケーススタディとし、地形測量の実施及び地形データ入力ファイルの作成。遊水地への流入・流出量の解析とシミュレーション結果の評価を行うための氾濫実績調査。
- ⑧ テレメータシステムの運用とメンテナンス技術移転の一環として、水文観測所の担当者及び省水利庁の職員を対象に、水晶水圧式水位計の技術講習会を実施。取扱い説明書に加え、保守マニュアルと障害復旧マニュアルを作成。

電気通信分野においては、

- ① 機材保守管理協定に基づくマイクロ通信回線の機材保守管理の実施。
- ② テレメータ設備設置のための電波伝搬試験。
- ③ 情報通信に関する研修の実施。
- ④ 多重無線装置保守マニュアル及びテレメータ設備点検マニュアル等の現地語教科書作成。

- ⑤ テレメータ観測システムの据え付け調整 97年6月中旬までに完了
- ⑥ 移動通信の設計に関する研修の実施
- ⑦ 岳上～臨章間でフェージング調査の実施
- ⑧ マイクロ回線及びテレメータシステム保守管理技術の移転及び講習会の開催

情報処理分野においては、

- ① 短期専門家による河川情報システム開発における業務のマネジメント方法についての技術移転
- ② データベースの作成、データ伝送及びシステム管理に関する研修の実施
- ③ C/Pによる中央情報処理システム総体設計に基づくサブシステムの開発。
- ④ 機材保守管理協定に基づく情報処理機器の保守管理業務を実施。

また、96年12月3日から5日の3日間にわたり北京において、第2回の現地セミナーを開催しました。このセミナーには各水系の水利委員会、16省市、水利部及びプロジェクト関係者、日本大使館、JICA事務所などから80名以上が参加しました。セミナーでは、山本建設省土木研究所河川部長をはじめ1名の日本人講師と中国側4名が講演を行い、その後の討議では活発に意見交換が行われました。現地セミナーの開催により、C/P以外の中国専門家に対し、日本の水害防止技術を紹介し、啓蒙を図り、かつ友好関係を深めることができました。

さらに、本年11月11日から13日まで「非構造的な水害防止対策」をテーマに国際セミナーを開催し、インドネシア、タイ、日本、中国など8カ国から60名の参加がありました。その中から選ばれた26名参加者より発表があり、活発な議論が交わされました。今後、これら参加者間でのネットワーク形成の基盤ができました。

この国際セミナー開催に合わせ、プロジェクト活動内容紹介ハンフレット（日文、中文、英文）を作成し、セミナーで配布するとともに、広報活動に活用しました。

これらの活動を支援し、日中双方の連絡・協力関係をさらに緊密にさせ、プロジェクト業務の円滑化を図るために、プロジェクト弁公室管理組とは密接に連絡調整を行っております。専門家の身の回りの各種手続き、日本からの供与機材の引取り、通関事務処理などについての水利部

関係部局及びプロジェクト弁公室管理組の大変なご努力に対しまして、ここで厚く御礼申し上げます。特に、テレメータ機材の引取りでは、国家無線電管理委員会の規則の変更により無線機の機能試験が義務づけられ、通関手続きに時間を要しましたが、適切に処理して頂きありがとうございました。

2) カウンターパート関係について

現在、水文分野については6人、情報処理分野については15人、通信組については5人、パイロット流域である章衛南運河管理局については17人で、プロジェクト全体で43人のC/Pが配置されています。

96年度の訪日研修には、水文分野から胡亜林、電気通信分野から何宗涛の2名が9月30日から12月20日までの12週間参加しました。97年度の訪日研修には、水文分野から周砺、電気通信分野から刘新华、情報処理分野から张维华、范作江の計4名が9月16日から12月1日までの12週間参加しました。訪日研修生は、建設省や愛知県、日本無線、アイ・エヌ・エー、富士通などで研修を受け、技術の向上や各専門分野の日本での実状の把握を行ってきました。

3) 供与機材について

プロジェクトの進捗に合わせて、機材の提供を順次行っていますが、96年度はテレメータ観測システム設備及びマイクロ通信機器の保守機材、測定器を導入しました。

4) 専門家活動経費

プロジェクト専門家の技術移転活動に必要な基盤整備として、各分野の技術文献の購入、翻訳、テキスト作成などを行いました。また、現地研究費として、水文資料の整理、遊水地の横断測量、水理解析・フェージング調査・図形処理の資料整理を実施しました。

2. 今後の技術協力活動について（98年1月以降）

水文分野については、98年の出水期にテストランができるよう、96年8月洪水による洪水予測モデルの定数再同定、国家管理河道のフィードバックシステム作成、予測結果選択システムへの統合、遊水地氾濫解析を完了させる必要があります。その後、テストラン及びモデルの評価・改良、衛河流域の洪水予測モデルの開発、ガイドライン作成を実施していくこととなります。

電気通信分野においては、引き続きマイクロ回線の保守点検を行うほ

か、フェージング調査を継続し、収集データの整理・考察を行い、必要となる対策の実施に移行できるよう準備を進めます。

情報処理分野では、引き続き情報処理機器の保守点検を行うほか、未完成のサブシステムを完成させます。

プロジェクト完了までの期間に限りがありますので、今ほど申し上げたすべてを完成させることは困難ですが、できる限り完成度の高いシステムになるようC/Pの皆さんと協力していきます。

今年は、昨年ほど大きな被害とはなりませんでしたが、広東省、浙江省など南方地域で洪水が発生しました。被災地では、尊い人命が失われ、家屋、田畑などが浸水し、大きな経済的損出が生じています。

本プロジェクトは、このような洪水による被害を軽減するために実施しているものです。私達日本人専門家チームは、残された期間においても、できる限りの努力をして参りますので、中国側の指導機関、上部機関におかれましても、これまで以上のご指導、ご支援を頂けるようお願い申し上げます。またプロジェクトの実施を通じて、日中双方の技術交流・友好関係がますます拡大されることをお祈り致しまして、私の報告とさせていただきます。

中国国家水害防止プロジェクト活動実績・計画表

97:015作成

日 標	内 容 (概要、種別、氏名、性別等)	1993年度		1994年度		1995年度		1996年度		1997年度		備 考									
		5	2	1	8	12	2	5	8	11	2		5	8	11	2	5	8	11	2	5
I) 洪水予測分野																					
Ⅰ 全体計画の策定と基礎研究																					
1. 全体計画の策定																					
2. 河川水文特性の把握																					
3. 基礎理論の移転																					
Ⅱ ハードウェアの導入																					
1. 情報処理設備の導入 (開発PC・LAN)																					
2. 情報収集設備の導入 (テレメータ)																					
Ⅲ ソフトウェアの開発																					
1. 岳城ダム上流域の予測モデル開発																					
2. 國家管理区間の種動路跡モデルの開発																					
3. 比較モデルの作成																					
4. GUIによるハードウェアへの実装																					
5. シミュレーションとモデルの改良																					
6. 遊水池の氾濫解析																					
7. 衛河上流域の予測モデルの開発																					
8. 総合評価																					

中国国営水害防止プロジェクト活動実績・計画表

971015作成

目 次	内容(概要、場所、氏名、分野等)	1993年度			1994年度			1995年度			1996年度			1997年度			備 考
		6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	
2) 電気通信分野 ①固定系7/20カ所導入実施計画策定 ②レポート策定、無線器具新調定 ③回路設計 ④機器仕様作成、発注 ⑤機材・調整 ⑥運用 ⑦回路の維持保守(マニュアル作成) ⑧移動通信回線導入実施計画策定 ⑨回路設計																	
3) 情報処理分野 ①システム全体計画策定 ②機器仕様作成、発注 ③機材・調整 ④取扱トレーニング ⑤アプリケーション開発 ⑥システム運用管理 ⑦雲南河運河流域システム整備																	

中国国営水害防止プロジェクト活動実績・計画表

971015作成

機材番号	内容(機名、種類、容量、台数等)	1996年度												備考				
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12					
洪水予測分野	洪水予測用コンピュータ (2台)																95.9購入 96.5購入	
	洪水予測開発用ソフトウェア (1区)																	
	電気通信分野																	
	固定マイクロ多重無線機 (14台)																95.6第10月購入完了	
	デジタル無線装置 (8式)																95.6第10月購入完了	
	パラホラアンテナ (24面)																95.3第10月購入完了	
	フアクシミリ (8台)																95.2第10月購入完了	
	折返し試験器 (2台)																95.6購入	
	電力計等の測定器 (12台)																95.8購入	
	無線機共通予備部品 (2式)																95.6購入	
通信機共通予備部品 (各1式)																96.5購入		
情報処理分野 (1) 中央システム	パーソナルコンピュータ (VAX5510) 1台																94.3購入	
	パーソナルコンピュータ (2台)																95.3購入	
	ワークステーション端末 (7台)																95.3, 96.3購入	
	ワークステーション端末 (15台)																95.3, 96.3購入	
	周辺機器																96.3購入	
	ソフトウェア																96.3購入	
	情報処理分野 (2) 専用システム	パーソナルコンピュータ (2台)																96.3購入
		ファイルサーバー (1台)																96.3購入
		ワークステーション端末 (5台)																96.3購入
		周辺機器																96.3購入
ソフトウェア																	96.3購入	
テレメータ観測システム		監視高気置 (1台)																97.4第6月購入完了
		中継高気置 (3台)																97.4第6月購入完了
		観測高気置 (5台)																97.4第6月購入完了
		圧力式水位計 (5台)																97.4第6月購入完了
		高気置 (5台)																97.4第6月

中国国営水害防止プロジェクト活動実績・計画表

97:015作成

項目	1993年度				1994年度				1995年度				1996年度				1997年度				備 考
	6	5	4	3	6	5	4	3	6	5	4	3	6	5	4	3	6	5	4	3	
専門派遣員 〔長期専門家〕																					派遣期間
1) 野野 賢雄 (チーフアドバイザー)																					931206-960331
2) 鎌田 昭章 (チーフアドバイザー)																					960329-980331
3) 田中 徳成 (業務調整)																					930610-960831
4) 高橋 妙子 (業務調整)																					960809-980531
5) 森谷 浩一 (水 文)																					940518-960517
6) 山田 智夫 (水 文)																					960513-980531
7) 村井 清和 (電気通信)																					930818-960817
8) 池部 憲次 (電気通信)																					960805-980531
〔短期専門家〕																					
1) 田尻 敏 (電気通信)																					940523-940819
2) 宮田 秀典 (情報処理)																					940905-941202
3) 溝田 祐造 (水 文)																					941003-941222
4) 柴田 政 (情報処理)																					950615-950914
5) 杉本 正樹 (電気通信)																					950615-951028
6) 森島 光夫 (電気通信)																					950918-960331
7) 近藤兼一郎 (水 文)																					960121-960127
8) 山口 謙一 (4名)																					960304-960426
9) 栗津 博文 (情報処理)																					961021-961227
10) 上田 博也 (情報処理)																					961023-970117
11) 本多 和彦 (水 文)																					961021-961208-10
12) 山口 謙一 (4名)																					970324-970613
13) 森島 智雄 (水 文)																					970402-970627
14) 川岸 敏明 (電気通信)																					970922-971219
15) 大西 光陽 (水 文)																					970922-971121
16) 小田島明彦 (電気通信)																					970922-971121
17) 遠藤 秀 (電気通信)																					971020-971031
18) 本多 和彦 (水 文)																					
19) 森 定 (水 文)																					

中国国家水害防止プロジェクト活動実績・計画表

971015作成

項目	内容(地区、種別、氏名、分野等)	1993年度					1994年度					1995年度					1996年度					1997年度					備考
		6	8	1	2	5	6	8	1	2	5	6	8	1	2	5	6	8	1	2	5	6	8	1	2	5	
研修員受入	1) 陳 志坤 (水害防止指導)					-																					950116~950201
	2) 謝 邦澤 (水害防止指導)					-																					950116~950201
	3) 孔 祥彪 (水害防止指導)																										950619~950708
	4) 余 遠征 (情報処理)																										940310~940424
	5) 余 博 (情報処理)																										940310~940424
	6) 陳 華東 (水 文)																										940310~940424
	7) 楊 名亮 (水 文)																										950109~950329
	8) 李 西龍 (水 文)																										950109~950329
	9) 袁 成東 (電気通信)																										950109~950329
	10) 陳 鳳 (情報処理)																										950109~950329
	11) 李 健 (水 文)																										960108~960329
	12) 鮑 智良 (電気通信)																										960108~960329
	13) 吳 礼端 (情報処理)																										960108~960329
	14) 胡 亞林 (水 文)																										960930~961220
	15) 何 家外 (電気通信)																										960930~961220
	16) 周 楠 (水 文)																										970916~971204
	17) 劉 新華 (電気通信)																										970916~971204
	18) 範 作江 (情報処理)																										970916~971204
	19) 張 維華 (情報処理)																										970916~971204
合同委員会																											第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回
調査団																											第1回 第2回 第3回
セミナー開催																											第1回 第2回

9-2-1 専門家派遣一覧

1) 長期専門家

氏名	専門分野	派遣期間
越智 繁雄	チーフ・アドバイザー	1993.12.06~1996.03.31
鎌田 照章	チーフ・アドバイザー	1996.03.29~1998.03.31
田中 徳成	業務調整	1993.06.10~1996.08.31
富樫 妙子	業務調整	1996.08.09~1998.05.31
澁谷 慎一	水 文	1994.05.18~1996.05.17
山田 哲夫	水 文	1996.05.13~1998.05.31
村井 清和	電気通信	1993.08.18~1996.08.17
池部 憲次	電気通信	1996.08.05~1998.05.31

2) 短期専門家

1994年度(平成6年)

氏名	専門分野	派遣期間
田尻 稔	電気通信	1994.05.23~1994.08.19
宮田 芳典	情報処理	1994.09.05~1994.12.02
満田 祐造	水文	1994.10.03~1994.12.22

1995年度(平成7年)

氏名	専門分野	派遣期間
杉本 正樹	電気通信	1995.06.15~1995.10.28
長島 光夫	電気通信	1995.06.15~1995.10.28
柴田 政	情報処理	1995.06.15~1995.09.14
近藤兼一郎	水文	1995.09.18~1996.03.31
山崎 丈夫	セミナー講師	1996.01.21~1996.01.27
井上 和也	セミナー講師	1996.01.21~1996.01.27
赤木 伸弘	セミナー講師	1996.01.21~1996.01.27
寺川 陽	セミナー講師	1996.01.21~1996.01.27
來徳 博文	情報処理	1996.03.04~1996.04.26

2) 短期専門家

1996年度(平成8年)

氏名	専門分野	派遣期間
上田 将也	情報処理	1996.10.21~1996.12.27
本多 和彦	水文	1996.10.23~1997.01.17
山本 晃一	セミナー講師	1996.12.01~1996.12.08
中川 一	セミナー講師	1996.12.01~1996.12.08
中北 英一	セミナー講師	1996.12.01~1996.12.10
川口 真司	セミナー講師	1996.12.01~1996.12.11
遠藤 哲雄	水文	1997.03.24~1997.06.13
川岸 敏明	電気通信	1997.04.02~1997.06.27

1997年度(平成9年)

氏名	専門分野	派遣期間
大西 光陽	水文	1997.09.22~1997.12.19
小田島 明德	電気通信	1997.09.22~1997.11.21
遠藤 勇	電気通信	1997.09.22~1997.11.21
本多 和彦	水文	1997.10.20~1997.10.31
未 定	水文	

9-2-2 C/P研修実績

1993年度(平成5年)

氏名	専門分野	派遣期間
許 博	情報処理	1994.03.10~1994.04.24
余 達 征	情報処理	1994.03.10~1994.04.24
陳 維 東	水 文	1994.03.10~1994.04.24

1994年度(平成6年)

氏名	専門分野	派遣期間
徐 曉 東	電気通信	1995.01.09~1995.03.29
陳 嵐	情報処理	1995.01.09~1995.03.29
章 四 龍	水 文	1995.01.09~1995.03.29
楊 明 亮	水 文	1995.01.09~1995.03.29
陳 德 坤	準高級	1995.01.16~1995.02.01
謝 邦 澤	準高級	1995.01.16~1995.02.01

1995年度(平成7年)

氏名	専門分野	派遣期間
孔 祥 愈	準高級	1995.06.19~1995.07.08
鮑 志 良	電気通信	1996.01.08~1996.03.29
李 健	水 文	1996.01.08~1996.03.29
吳 礼 福	情報処理	1996.01.08~1996.03.29

1996年度(平成8年)

氏名	専門分野	派遣期間
胡亞林	水文	1996.09.30~1996.12.20
何宗涛	電気通信	1996.09.30~1996.12.20

1997年度(平成9年)

氏名	専門分野	派遣期間
周 砾	水文	1996.09.16~1996.12.04
劉新華	電気通信	1996.09.16~1996.12.04
範作江	情報処理	1996.09.16~1996.12.04
張維華	情報処理	1996.09.16~1996.12.04

9-2-3 供与機材リスト

(1)160万円以上

供与年度	番 号	機材名(メーカー、型式等)	供与数	設置及び保管場所	管理責任者	備 考
平成5年	93KY01	データベースサーバ (VAX6510)	1台	水利部本庁舎内	謝邦孝	
平成5年	93KY02	車積 ライトクルーザー (TOYOTA HZJ80 GNMNS)	1台	豊南南運河管理局	宋徳武	
平成5年	93KY03	車積 ライトクルーザー (TOYOTA FZJ80L GNMNU)	1台	プロジェクト駐車場	謝邦孝	
平成5年	93KY04	車積 プレミア (TOYOTA TCR10L RFSGK)	1台	プロジェクト駐車場	謝邦孝	
平成5年	93KY05	車積 コースター (TOYOTA HZB50L ZCMQS)	1台	プロジェクト駐車場	謝邦孝	
平成5年	93KY07~ KY013	多重無線通信装置 (JRC 2GHz, PCM PSK 2MB/S ×4, 1W, S/D, 1+1)	7台	豊南南運河管理局	宋徳武	
平成6年	94KY01~ KY02	データベースサーバ (FUJITSU K-422S)	2台	プロジェクト計算機室	謝邦孝	
平成6年	94KY03~ KY04	高性能ワークステーション端末 (SUN SPARK STATION20)	2台	プロジェクト計算機室	謝邦孝	
平成6年	94KY05~ KY07	低性能ワークステーション端末 (SUN SPARK STATIONN20)	3台	プロジェクト計算機室	謝邦孝	
平成6年	94KY028 ~KY043	パラボラアンテナ(3.2M) (WFG32-19DL)	16面	豊南南運河管理局	謝邦孝	
平成6年	94KY044 ~KY051	パラボラアンテナ(1.0M) (WFG10-19D)	8面	豊南南運河管理局	謝邦孝	
平成6年	94KY052 ~KY054	多重無線通信装置 (120ch,PCM,50) JRC	3台	豊南南運河管理局	宋徳武	
平成6年	94KY055 ~KY058	多重無線通信装置 (120ch,PCM,41) JRC	4台	豊南南運河管理局	宋徳武	
平成6年	94KY062 ~KY069	デジタル放送装置	8式	豊南南運河管理局	宋徳武	
平成7年	95KY011	スペクトラムアナライザー (アンリツMS262GA)	1台	豊南南運河管理局	宋徳武	
平成7年	95KY020 ~KY021	ワークステーション端末 (SUN S20SX8-51-32-P46)	2台	プロジェクト計算機室	謝邦孝	
平成7年	95KY025 ~KY026	カラーハートコピー (A3) (ELECTROX PHASER 300)	2台	プロジェクト計算機室	謝邦孝	
平成7年	95KY028	カラスキャパ (SHARP JX-610)	1台	プロジェクト計算機室	謝邦孝	
平成7年	95KY050	ソフトウェア (ARC INFO)	1式	プロジェクト計算機室	謝邦孝	
平成7年	95KY064 ~KY065	データベースサーバ1 (FUJITSU FS F4501)	2台	豊南南運河管理局	宋徳武	
平成7年	95KY066	データベースサーバ2 (FUJITSU FS F4501)	1台	豊南南運河管理局	宋徳武	
平成7年	95KY081	ソフトウェア (SYBASE)	1式	豊南南運河管理局	宋徳武	
平成7年	95KY087	ソフトウェア (ONA 貯留関数不等流、不定流、追従解析)	1式	プロジェクトC/P室	謝邦孝	
平成8年	96KY01	電界強度測定器 ML534C (メッツボック(MZ110B)) ×2、充電器(MZ115B)含む) アンリツ	1台	豊南南運河管理局	宋徳武	
平成8年	96KY051 ~510	無線機共通予備 汎用 114A装置内実装用 JRC	1式	豊南南運河管理局	宋徳武	
平成8年	96KY08	TM監視局装置 (無線機含む) GWD 0700-TI NSL-423/NRF-423 JRC	1台	豊南南運河管理局	宋徳武	
平成8年	96KY09	TM監視局装置操作卓 GWD 2406 CD JRC	1台	豊南南運河管理局	宋徳武	
平成8年	96KY011	TM中継局装置 (無線機含む) GWD 650 230MHz-1W JRC	1台	豊南南運河管理局	宋徳武	
平成8年	96KY012	TM中継局装置 (無線機含む) GWD 650 230MHz-3W JRC	1台	豊南南運河管理局	宋徳武	
平成8年	96KY013	TM中継局装置 (無線機含む) GWD 650 230MHz-10W JRC	1台	豊南南運河管理局	宋徳武	
平成8年		TM監視局装置工事材料	1式	豊南南運河管理局	宋徳武	
平成8年	96KY028 ~KY032	水晶式水位計 (センサー含む) QS 20 QDL-940 32010 拓和	5台	豊南南運河管理局	宋徳武	

9-2-3 供与機材リスト

(1)160万円以上

供与年度	番 号	機材名(メーカー、型式等)	供与数	設置及び保管場所	管理責任者	備 考
平成8年		センサーケーブル (940MO,EXTENSION CABLE 1080M)	1式	幸徳南洋局管理局	宋徳武	
平成9年	97KYO	IM監視装置共通予備品 (GWD-1700-1T装置内実装用)	1式			
平成9年	97KYO	無線装置共通予備品 (GWD-230シリーズ)	1式			
平成9年	97KYO	水位計共通予備品 (7HEWD0014装置内実装用)	1式			
平成9年	97KYO	多重無線通信装置無線機共通予備品 (JUK-114A装置内実装用) 送信版	1枚			
平成9年	97KYO	多重無線通信装置無線機共通予備品 (JUK-114A装置内実装用) 受信版	1枚			

9-2-3 供与機材リスト

(2)10万円以上160万円未満

供与年度	番 号	機材名(メーカー、型式等)	供与数	設置及び保管場所	管理責任者	備 考
平成5年		車積 ラントクルーサーパーツ (TOYOTA HZJ80-GNMNS)	1式	幸徳南運河管理局	宋徳武	
平成5年		車積 ラントクルーサーパーツ (TOYOTA FZJ80L-GNMNU)	1式	弁公室437号室	謝邦孝	
平成5年		車積 プレミアパーツ (TOYOTA TCR10L-RFSGK)	1式	弁公室437号室	謝邦孝	
平成5年		車積 コースターパーツ (TOYOTA HZB50L-ZCMQS)	1式	弁公室437号室	謝邦孝	
平成5年	93KY06	車積 ハイエース (TOYOTA RZH112L-SRMRS)	1台	幸徳南運河管理局	宋徳武	
平成5年		車積 ハイエースパーツ (TOYOTA RZH113L-SRMRS)	1台	幸徳南運河管理局	宋徳武	
平成5年	93KY014 -KY015	測定器 (15リ返し試験器) IRC	2台	幸徳南運河管理局	宋徳武	
平成6年	94KY08 -KY09	高性能パーソナルコンピュータ端末 (COMPAQ DESKPRO XL5/60)	2台	幸徳南運河管理局	宋徳武	
平成6年	94KY010 -KY019	低性能パーソナルコンピュータ端末 (COMPAQ DESKPRO XL4/66)	10台	幸徳南運河管理局	宋徳武	
平成6年	94KY020 -KY027	ファクシミリ (CANON FAX-L770)	8台	幸徳南運河管理局	宋徳武	
平成6年	94KY060	送信ユニット	1式	幸徳南運河管理局	宋徳武	
平成6年	94KY061	受信ユニット	1式	幸徳南運河管理局	宋徳武	
平成6年	94KY087	通信用箱子 (大)	1個	幸徳南運河管理局	宋徳武	
平成6年	94KY088	通信用箱子 (小)	7個	幸徳南運河管理局	宋徳武	
平成6年		取入付け材料	1式	幸徳南運河管理局	宋徳武	

9-2-3 供与機材リスト

(2) 10万円以上160万円未満

供与年度	番号	機材名(メーカー、形式等)	供与数	保管場所	管理責任者	備考
平成7年度	95-KY53 ~KY56	ソフトウェア (MAPSQL)	4式	プロジェクト計算機室	謝邦導	
平成7年度	95-KY59	ソフトウェア (MAPARCLINK)	1式	プロジェクト計算機室	謝邦導	
平成7年度	95-KY60 ~KY63	ソフトウェア (MAPINFO)	4式	プロジェクト計算機室	謝邦導	
平成7年度	95-KY67	ファイルサーバ (FUJITSU FMV-690T2)	1台	涼衛南運河管理局	宋徳武	
平成7年度	95-KY68	開発用パーソナルコンピュータ (FUJITSU FMV-590T2)	1台	涼衛南運河管理局	宋徳武	
平成7年度	95-KY69 ~KY70	パーソナルコンピュータ1 (FUJITSU FMV-590T2)	2台	涼衛南運河管理局	宋徳武	
平成7年度	95-KY71 ~KY72	パーソナルコンピュータ2 (FUJITSU FMV-590T2)	2台	涼衛南運河管理局	宋徳武	
平成7年度	95-KY73 ~KY74	レーザープリンタ (HP 4VC)	2台	涼衛南運河管理局	宋徳武	
平成7年度	95-KY79 ~KY80	ルーター (CISCO 2509)	2台	涼衛南運河管理局	宋徳武	
平成7年度	95-KY82 ~KY83	ソフトウェア (MAPINFO開発版)	2式	涼衛南運河管理局	宋徳武	
平成7年度	95-KY84 ~KY85	ソフトウェア (MAPINFO運行版)	2式	涼衛南運河管理局	宋徳武	
平成7年度	95-KY86	ソフトウェア (POWERBUILDER)	1式	涼衛南運河管理局	宋徳武	
平成7年度	95-KY88	無線機共通予備 (JRC)	1式	涼衛南運河管理局	宋徳武	
平成7年度	95-KY89	アナログ1F基板 (JRC)	1式	涼衛南運河管理局	宋徳武	
平成7年度	95-KY90	内線延長1F基板 (JRC)	1式	涼衛南運河管理局	宋徳武	
平成7年度	95-KY91	デジタル1F基板 (JRC)	1式	涼衛南運河管理局	宋徳武	
平成7年度	95-KY92	2線電話機1F基板 (JRC)	1式	涼衛南運河管理局	宋徳武	
平成7年度	95-KY93	デジタル端局共通予備 (JRC)	1式	涼衛南運河管理局	宋徳武	
平成7年度	95-KY94	リモコン部共通予備 (JRC)	1式	涼衛南運河管理局	宋徳武	

9-2-3 供与機材リスト
 (2) 10万円以上160万円未満

供与年度	番号	機材名(メーカー、形式等)	供与数	保管場所	管理責任者	備考
平成7年度	95-KY01	電力計 (アブリ M4803A)	1台	津衛南運河管理局	宋徳武	
平成7年度	95-KY02	周波数カウンタ- (アブリ MF1603A)	1台	津衛南運河管理局	宋徳武	
平成7年度	95-KY03	標準信号発生器 (アブリ MG724A1)	1台	津衛南運河管理局	宋徳武	
平成7年度	95-KY04 ~KY05	レベル計 (アブリ M424A)	2台	津衛南運河管理局	宋徳武	
平成7年度	95-KY06 ~KY07	発振器 (アブリ MG442A)	2台	津衛南運河管理局	宋徳武	
平成7年度	95-KY08	SWR計 (アブリ MP5200)	1組	津衛南運河管理局	宋徳武	
平成7年度	95-KY09 ~KY10	符号誤り率測定器 (アブリ MP1520E)	2台	津衛南運河管理局	宋徳武	
平成7年度	95-KY12	同軸減衰器 (アブリ M165A)	1台	津衛南運河管理局	宋徳武	
平成7年度	95-KY13 ~KY14	高性能パーソナルコンピュータ (COMPAQ 586/66 16MB CRT20)	2台	アブリ外C/P室	謝邦澤	
平成7年度	95-KY15 ~KY16	レーザープリンタ (HP 4V A3対応)	2台	アブリ外C/P室	謝邦澤	
平成7年度	95-KY17	デジタイザ- (COMPAQ 34360(A) A1対応)	1台	アブリ外C/P室	謝邦澤	
平成7年度	95-KY18 ~KY19	ソフトウェア (MS-DOS WINDOWS BPLAND C, FORTRAN, LOTUS123, GIS)	2式	アブリ外C/P室	謝邦澤	
平成7年度	95-KY22 ~KY24	パーソナルコンピュータ端末 (COMPAQ DESKPRO XL590)	3台	アブリ外計算機室	謝邦澤	
平成7年度	95-KY27	カラーハードコピー (A4) (TEKTROONIX PHASER340P)	1台	アブリ外計算機室	謝邦澤	
平成7年度	95-KY29 ~KY31	レーザープリンタ (HP 4VC)	3台	アブリ外計算機室	謝邦澤	
平成7年度	95-KY32 ~KY35	ソフトウェア (POWERBUILDER 開発版)	4式	アブリ外計算機室	謝邦澤	
平成7年度	95-KY36 ~KY38	ソフトウェア (POWERBUILDER 運行版)	3式	アブリ外計算機室	謝邦澤	
平成7年度	95-KY51 ~KY52	ソフトウェア (MAPBASIC)	2式	アブリ外計算機室	謝邦澤	

9-2-3 供与機材リスト

(2)10万円以上160万円未満

供与年度	番 号	機材名(メーカー、型式等)	供与数	設置及び保管場所	管理責任者	備 考
平成8年	96KY02	アンテナポール EP-10 アンリツ	1本	豊南南運河管理局	宋徳武	
平成8年	96KY03-1	アンテナ MP634B アンリツ	1本	豊南南運河管理局	宋徳武	
平成8年	96KY03-2	アンテナ MP663A アンリツ	1本	豊南南運河管理局	宋徳武	
平成8年	96KY04	記録計 EPR-3531 東亜電工工業	1台	豊南南運河管理局	宋徳武	
平成8年	96KY06-1	アナログIF基板 JUX-1500装置内実装用 4W INF CQL-2 JRC	1枚	豊南南運河管理局	宋徳武	
平成8年	96KY06-2	デジタルIF基板 JUX-1500装置内実装用 V35 NF CMK-327 JRC	1枚	豊南南運河管理局	宋徳武	
平成8年	96KY06-3	2W電話機IF基板 JUX-1500装置内実装用 LC CQL-35 JRC	1枚	豊南南運河管理局	宋徳武	
平成8年	96KY06-4	内線延長IF基板 JUX-1500装置内実装用 CGI CQL-34	1枚	豊南南運河管理局	宋徳武	
平成8年	96KY06-5 -KY06-9	デジタル装置共通予備品 JUX-1500装置内実装用 JRC	1式	豊南南運河管理局	宋徳武	
平成8年		IM監視局装置工事材料	1式	豊南南運河管理局	宋徳武	
平成8年	96KY07	リモコン部共通予備品 JUD-24M装置内実装用 MPU CDA-680 JRC	1枚	豊南南運河管理局	宋徳武	
平成8年	96KY010	IM監視局装置プリンタ NDG-500 JRC	1台	豊南南運河管理局	宋徳武	
平成8年		IM中継局装置工事材料	1式	豊南南運河管理局	宋徳武	
平成8年	96KY014	IM観測局装置(無線機含む) GWD-1555 230MHz-1W JRC	1台	豊南南運河管理局	宋徳武	
平成8年	96KY015 -KY017	IM観測局装置(無線機含む) GWD-1555 230MHz-3W JRC	3台	豊南南運河管理局	宋徳武	
平成8年	96KY018	IM観測局装置(無線機含む) GWD-1555 230MHz-10W JRC	1台	豊南南運河管理局	宋徳武	
平成8年		同軸ケーブル(450M)	1式	豊南南運河管理局	宋徳武	
平成8年	96KY033 -KY042	水位計線路継ぎ中継器 QJB-1 拓和	10台	豊南南運河管理局	宋徳武	
平成9年	97KY0	IM操作部共通予備品 (GWD-2406-CD装置内実装用)	1式			
平成9年	97KY0	IM中継装置共通予備品 (GWD-650装置内実装用)	1式			
平成9年	97KY0	IM観測装置共通予備品 (GWD-1555装置内実装用)	1式			
平成9年	97KY0	PCM装置装置装置共通予備品 (JUX-1500装置内実装用) 局線電話機基板	6枚			
平成9年	97KY0	PCM装置装置装置共通予備品 (JUX-1510装置内実装用) 2W電話機IF基板	6枚			
平成9年	97KY0	リモコン装置リモコン共通予備品 (JUD-24M装置内実装用) 電源ユニット(親)	1組			
平成9年	97KY0	リモコン装置リモコン共通予備品 (JUD-25M装置内実装用) 電源ユニット(子)	1組			
平成9年	97KY0	接続ケーブル	1式			
平成9年	97KY0	コネクタ	1台			
平成9年	97KY0	通過型電力計	1台			

9-2-3 供与機材リスト

(2)10万円以上160万円未満

供与年度	番 号	機材名(メーカー、型式等)	供与数	設置及び保管場所	管理責任者	備 考
平成9年	07KYO	携帯型レベル計	1台			
平成9年	07KYO	標準信号発生器	1式			
平成9年	97KYO	スペクトラムアナライザ用プリンタ	1台			

9-2-3 供与機材リスト

(3)10万円以下

供与年度	番 号	機材名(メーカー、型式等)	供与数	設置及び保管場所	管理責任者	備 考
平成6年		同軸結集線 (WF 1150-13)	1820m	豊後南運河管理局	宋徳武	
平成6年		同軸接栓 (WF 1150-13用)	48	豊後南運河管理局	宋徳武	
平成6年		接栓用結集線 (8D-2W接栓付)	24m	豊後南運河管理局	宋徳武	
平成6年		WF 1150-13用金具	1796	豊後南運河管理局	宋徳武	
平成6年	94KY095 -KY0135	電話機	41台	豊後南運河管理局	宋徳武	
平成7年	95KY039 -KY042	ソフトウェア Powerbuilder Document	4式	プロジェクト計算機室	謝邦孝	
平成7年	95KY043 -KY049	ソフトウェア Motif CLEEX	7式	プロジェクト計算機室	謝邦孝	
平成7年	95KY057 -KY058	ソフトウェア VII	2式	プロジェクト計算機室	謝邦孝	
平成7年	95KY075 -KY078	プリンタ 1800K EPSON	4台	豊後南運河管理局	宋徳武	
平成8年	96KY019 -KY027	同軸装置器 NYZ-230 JRC	9台	豊後南運河管理局	宋徳武	
平成8年		同軸コネクタ	18式	豊後南運河管理局	宋徳武	

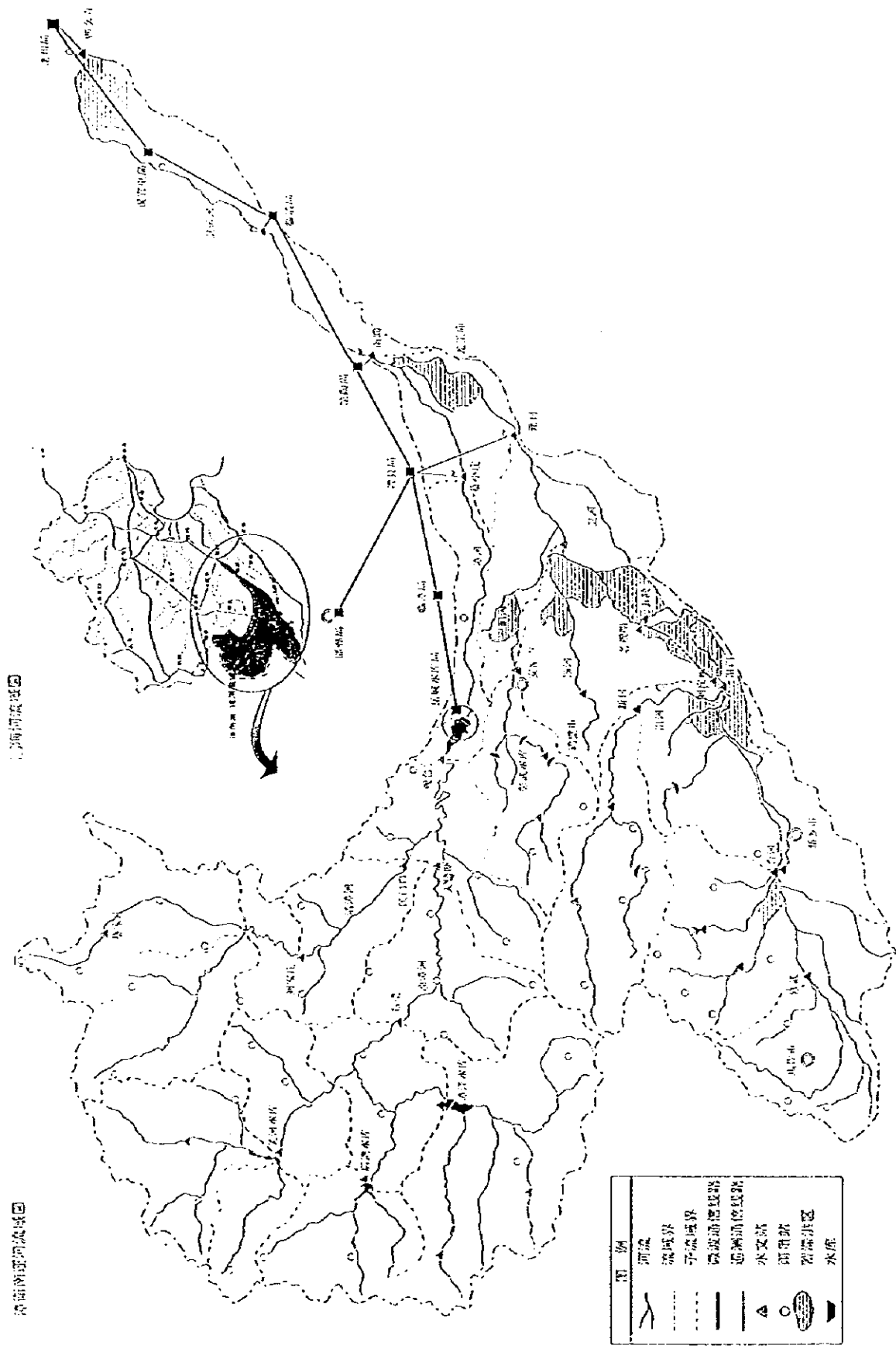
供与額総計(平成9年度供与予定機材分を除く)	414,000千円
------------------------	-----------

9-2-4 ローカルコスト

単位：千円

項 目	全		額		備 考	
	1993 (平成5) 年 度	1994 (平成6) 年 度	1995 (平成7) 年 度	1996 (平成8) 年 度		1997 (平成9) 年 度
現地業務費等	4,800	6,600	9,700	17,500	17,300	翻訳費、交通費、城内旅費、通信運送費、消耗品費、印刷製本費、セミナー開催費、技術交換費、技術者養成費等含む
水文分野現地研究費	0	1,600	14,000	21,100	11,900	測量、水文・地形資料の収集整理解析費、翻訳費、印刷製本費、交通費、他地域調査時旅費等含む
計	4,800	8,200	23,700	38,600	29,200	
総 計						104,500

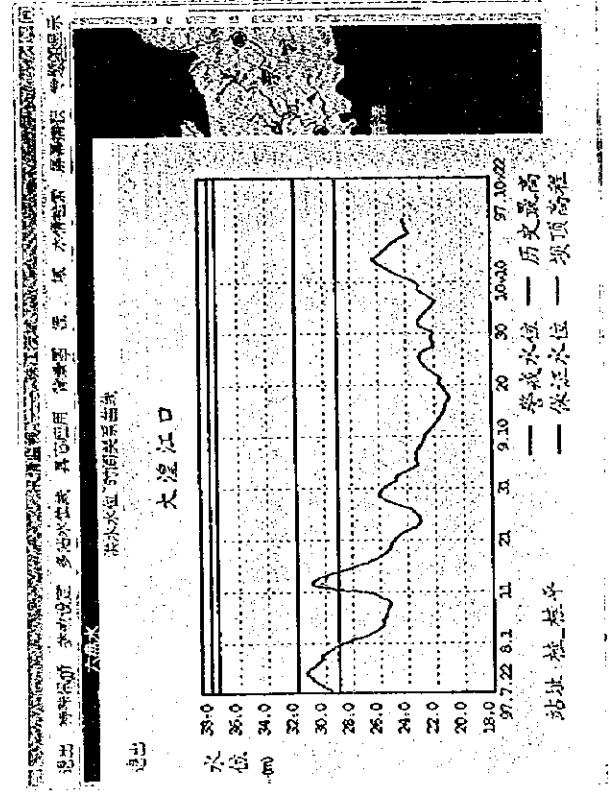
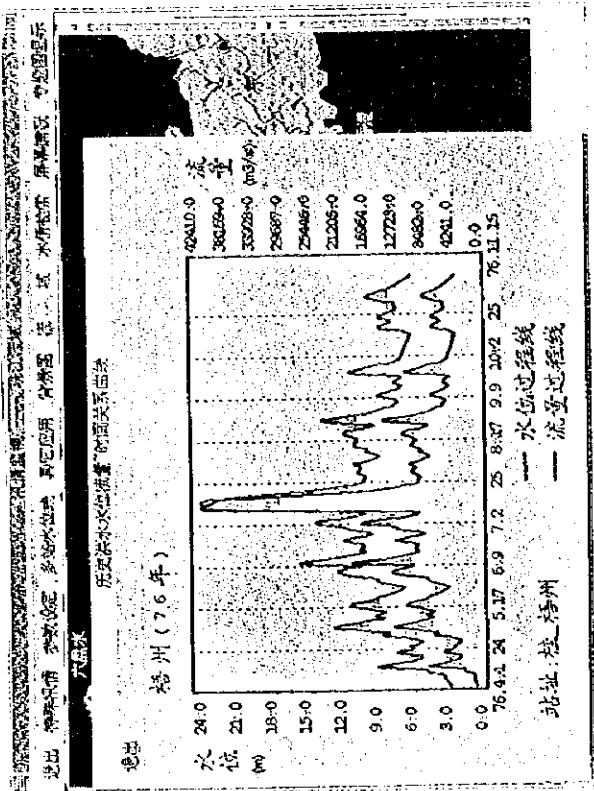
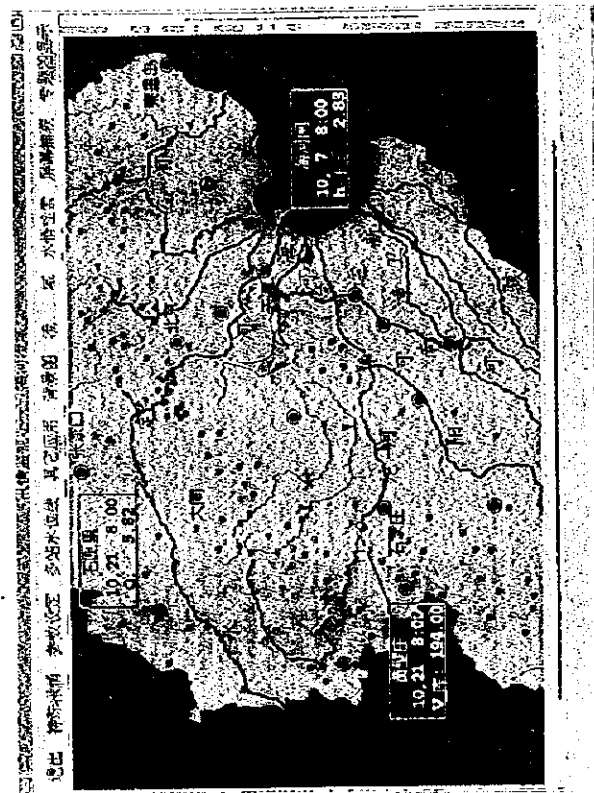
6 マイクロ回線およびテレメータ回線の系統図



Tone River Basin

Tone River Basin

7 洪水情報監視サブシステムの表示画面例 (中央水管防止情報システム)

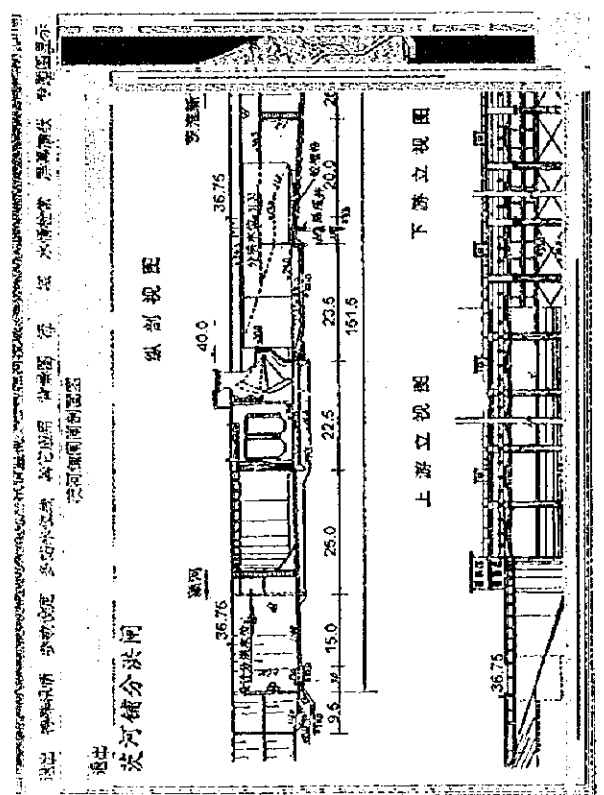
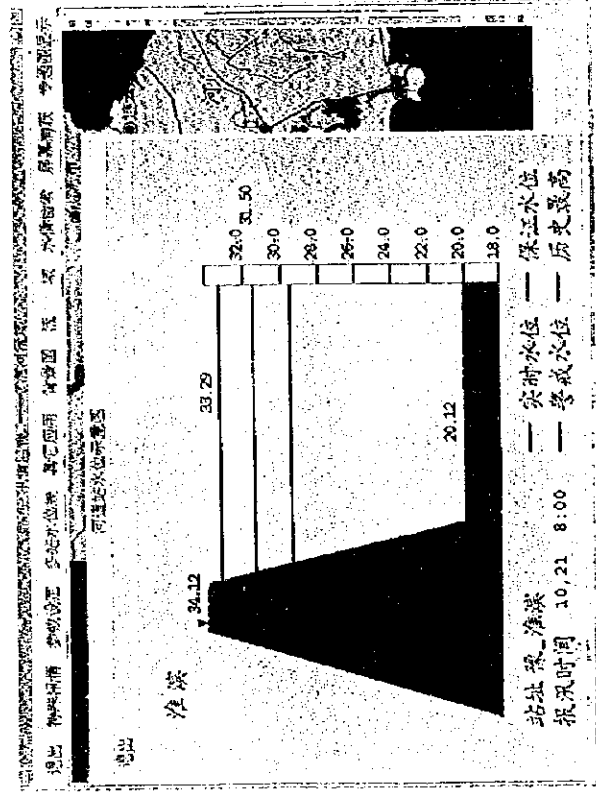
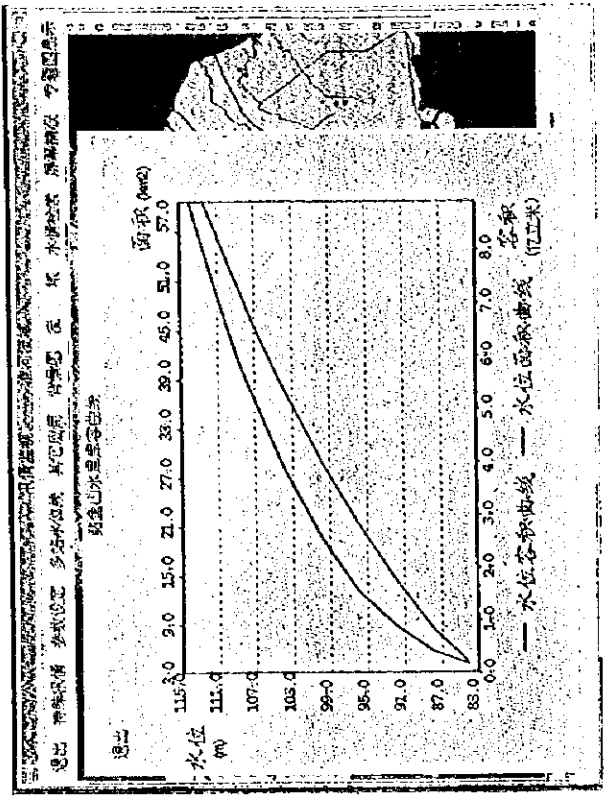


洪水情報監視サブシステムの表示画面例 (中央水管防止情報システム)

水位: 10.7 8.00
流量: 2.83

水位: 10.21 8.00
流量: 191.00

站名	河名	断面位置	断面位置	断面位置	断面位置
51025	桂河	10.21	8.00	6.99	3.05
51104	桂河	10.21	8.00	100.10	433.00
51131	桂河	10.21	8.00	75.45	65.00
51133	桂河	10.1	8.00	52.25	3.34
51116	桂河	10.1	8.00	45.30	4.05
51121	桂河	10.21	8.00	77.12	83.10
51124	桂河	10.21	8.00	88.45	82.80
52110	桂河	10.1	8.00	105.91	86.20
51230	桂河	10.21	8.00	50.91	66.40
51250	桂河	10.21	8.00	104.02	93.10
51280	桂河	10.21	8.00	2.55	37.30
51501	桂河	10.21	8.00	100.27	266.00
51560	桂河	10.22	8.00	105.40	359.00
51640	桂河	10.21	8.00	160.40	51.90
51660	桂河	10.21	8.00	90.82	149.00



8 情報検索サブシステムの表示画面例(中央水害防止情報システム)

河川水位情報

検索条件: 河川名: 50000, 地点: 99999

河川名	地点	日付	水位	水位	水位
50001	50001	97/07/10 08:00	51.97	51.97	51.97
50001	50001	97/07/10 20:00	51.79	51.79	51.79
50001	50001	97/07/11 08:00	51.81	51.81	51.81
50001	50001	97/07/11 20:00	51.84	51.84	51.84
50001	50001	97/07/12 08:00	51.87	51.87	51.87
50001	50001	97/07/12 20:00	51.89	51.89	51.89
50001	50001	97/07/13 08:00	51.91	51.91	51.91
50001	50001	97/07/13 20:00	51.93	51.93	51.93
50001	50001	97/07/14 08:00	51.95	51.95	51.95
50001	50001	97/07/14 20:00	51.97	51.97	51.97
50001	50001	97/07/15 08:00	51.99	51.99	51.99
50001	50001	97/07/15 20:00	52.01	52.01	52.01
50001	50001	97/07/16 08:00	52.03	52.03	52.03
50001	50001	97/07/16 20:00	52.05	52.05	52.05
50001	50001	97/07/17 08:00	52.07	52.07	52.07
50001	50001	97/07/17 20:00	52.09	52.09	52.09
50001	50001	97/07/18 08:00	52.11	52.11	52.11
50001	50001	97/07/18 20:00	52.13	52.13	52.13

降雨量

検索条件: 河川名: 00001, 地点: 99999

河川名	地点	日付	降雨量	降雨量	降雨量
00001	00001	97/07/10 08:00	15.6	15.6	15.6
00001	00001	97/07/10 20:00	15.6	15.6	15.6
00001	00001	97/07/11 08:00	15.6	15.6	15.6
00001	00001	97/07/11 20:00	15.6	15.6	15.6
00001	00001	97/07/12 08:00	15.6	15.6	15.6
00001	00001	97/07/12 20:00	15.6	15.6	15.6
00001	00001	97/07/13 08:00	15.6	15.6	15.6
00001	00001	97/07/13 20:00	15.6	15.6	15.6
00001	00001	97/07/14 08:00	15.6	15.6	15.6
00001	00001	97/07/14 20:00	15.6	15.6	15.6
00001	00001	97/07/15 08:00	15.6	15.6	15.6
00001	00001	97/07/15 20:00	15.6	15.6	15.6
00001	00001	97/07/16 08:00	15.6	15.6	15.6
00001	00001	97/07/16 20:00	15.6	15.6	15.6
00001	00001	97/07/17 08:00	15.6	15.6	15.6
00001	00001	97/07/17 20:00	15.6	15.6	15.6
00001	00001	97/07/18 08:00	15.6	15.6	15.6
00001	00001	97/07/18 20:00	15.6	15.6	15.6

水害調査報告書

調査河川: 110, 調査地点: 7

調査内容: 110, 調査結果: 7

調査内容: 110, 調査結果: 7

河川名	地点	日付	水位	水位	水位
110	7	97/07/10 08:00	12.96	12.96	12.96
110	7	97/07/10 20:00	12.96	12.96	12.96
110	7	97/07/11 08:00	12.96	12.96	12.96
110	7	97/07/11 20:00	12.96	12.96	12.96
110	7	97/07/12 08:00	12.96	12.96	12.96
110	7	97/07/12 20:00	12.96	12.96	12.96
110	7	97/07/13 08:00	12.96	12.96	12.96
110	7	97/07/13 20:00	12.96	12.96	12.96
110	7	97/07/14 08:00	12.96	12.96	12.96
110	7	97/07/14 20:00	12.96	12.96	12.96
110	7	97/07/15 08:00	12.96	12.96	12.96
110	7	97/07/15 20:00	12.96	12.96	12.96
110	7	97/07/16 08:00	12.96	12.96	12.96
110	7	97/07/16 20:00	12.96	12.96	12.96
110	7	97/07/17 08:00	12.96	12.96	12.96
110	7	97/07/17 20:00	12.96	12.96	12.96
110	7	97/07/18 08:00	12.96	12.96	12.96
110	7	97/07/18 20:00	12.96	12.96	12.96

水害調査報告書

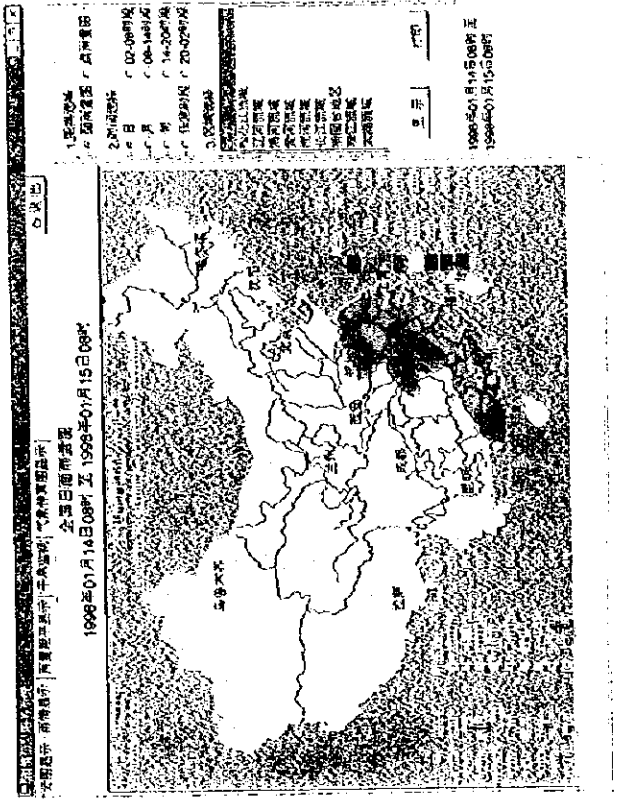
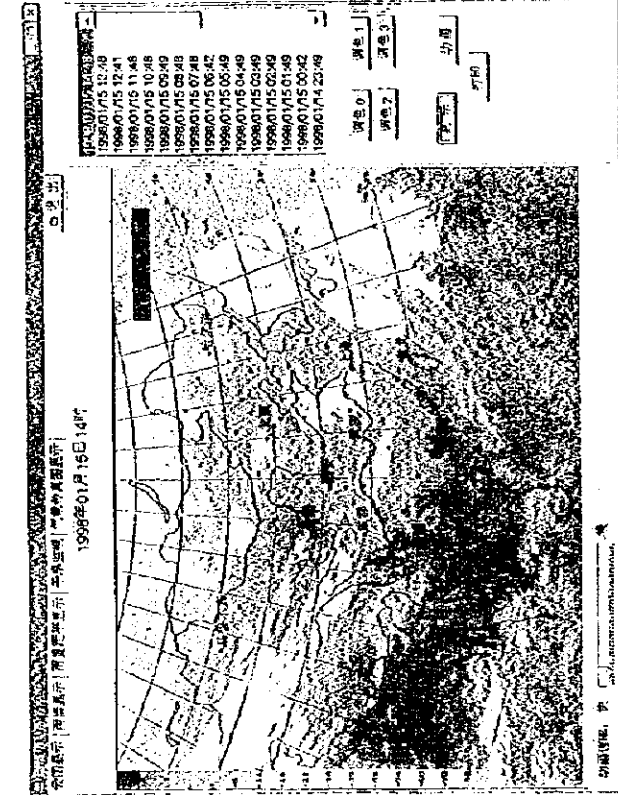
調査河川: 110, 調査地点: 7

調査内容: 110, 調査結果: 7

調査内容: 110, 調査結果: 7

河川名	地点	日付	水位	水位	水位
110	7	97/07/10 08:00	12.96	12.96	12.96
110	7	97/07/10 20:00	12.96	12.96	12.96
110	7	97/07/11 08:00	12.96	12.96	12.96
110	7	97/07/11 20:00	12.96	12.96	12.96
110	7	97/07/12 08:00	12.96	12.96	12.96
110	7	97/07/12 20:00	12.96	12.96	12.96
110	7	97/07/13 08:00	12.96	12.96	12.96
110	7	97/07/13 20:00	12.96	12.96	12.96
110	7	97/07/14 08:00	12.96	12.96	12.96
110	7	97/07/14 20:00	12.96	12.96	12.96
110	7	97/07/15 08:00	12.96	12.96	12.96
110	7	97/07/15 20:00	12.96	12.96	12.96
110	7	97/07/16 08:00	12.96	12.96	12.96
110	7	97/07/16 20:00	12.96	12.96	12.96
110	7	97/07/17 08:00	12.96	12.96	12.96
110	7	97/07/17 20:00	12.96	12.96	12.96
110	7	97/07/18 08:00	12.96	12.96	12.96
110	7	97/07/18 20:00	12.96	12.96	12.96

9 気象サービス・サブシステムの表示画面例（中央水害防止情報システム）



11 情報検索システムの表示画面例(葦術南運河洪水予測システム)

葦術南運河洪水予測システム

検索日時: 63/08/01 00:00 終了日時: 63/08/20 00:00

検索条件: 0 検索結果: 99999

検索日時	観測地点	観測値	予報値	誤差	観測値	予報値	誤差
63/08/01	3601.4	3620.4	3625.3	3625.5	3648.5		
63/08/01	47.9	68.3	11.3	3.4	9.9		
63/08/02	22	42.5	51.6	59.8	41.6	39.4	
63/08/03	84.5	168	105.2	139.2	94.1	102.6	
63/08/04	10	4	7.5	9.9	8.4	6	
63/08/05	21.7	139	57.1	72.2	247.9	69.2	
63/08/06	31.2	72	40.9	45.4	118.1	41.1	
63/08/07	49.2	99	63.4	91.3	33.5	43.6	
63/08/08	91.6	92	111.5	80	84.7	96.3	
63/08/09	7.2	11.5	11.5	1.9			

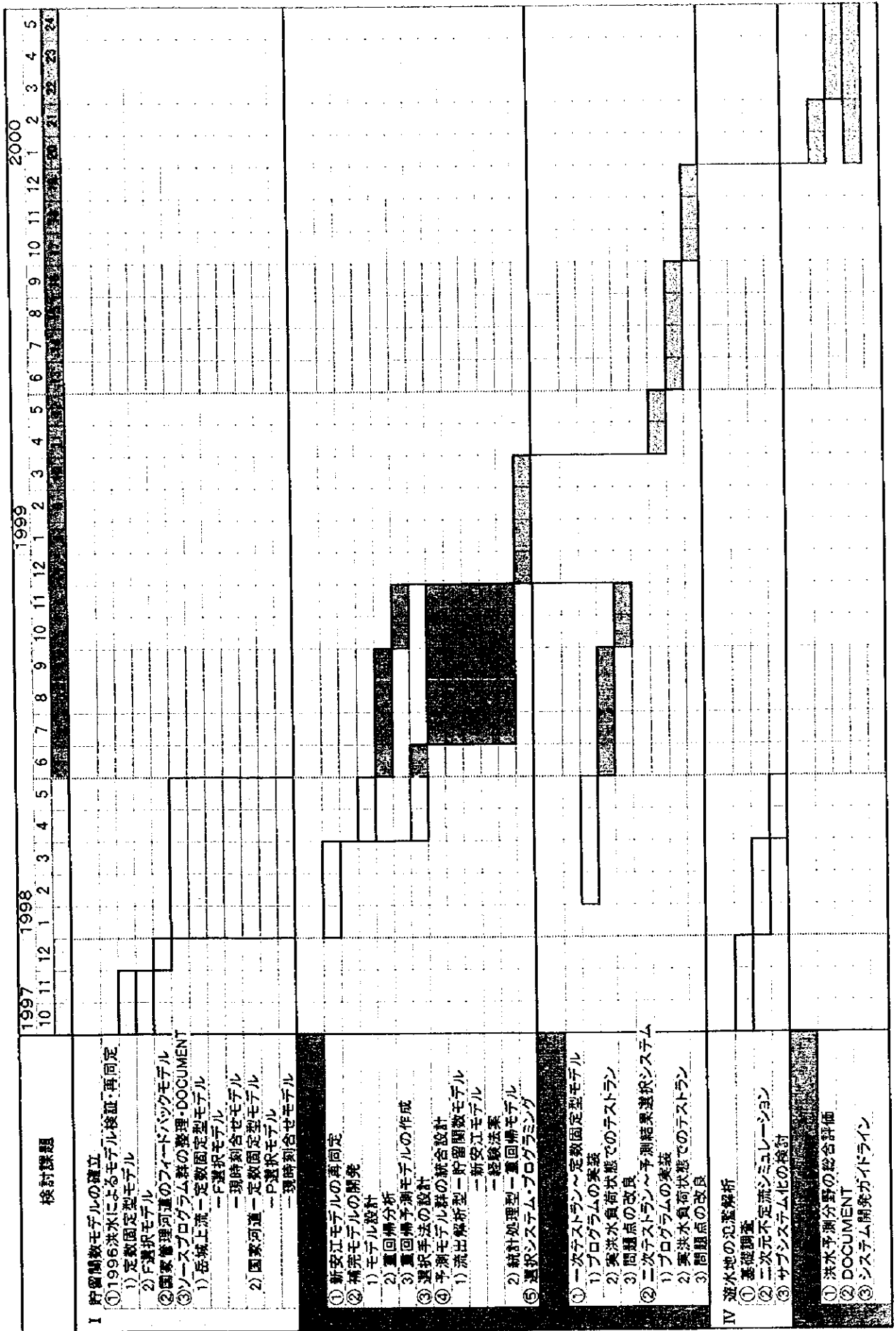
葦術南運河洪水予測システム

検索日時: 63/08/01 00:00 終了日時: 63/09/20 00:00

検索条件: 0 検索結果: 99999

検索日時	観測地点	観測値	予報値	誤差	観測値	予報値	誤差
63/08/29	08:00:00 AM		37.91		71.3		
63/08/29	09:00:00 AM		37.93		73.8		
63/08/29	11:00:00 AM		37.93		73.8		
63/08/04	08:00:00 AM		38.07		91.4		
63/08/05	02:00:00 PM		38.07		91.4		
63/08/05	08:00:00 AM		38.08		92.7		
63/09/07	02:00:00 AM		38.15		103		
63/09/07	08:00:00 AM		38.16		104		
63/09/07	08:00:00 AM		38.17		106		
63/09/07	11:00:00 AM		38.2		110		

12 洪水予測分野の活動計画（案）
 OFOLLOW UP課題 「実用精度の洪水予測システム作成手法の開発」



12 洪水予測分野の活動計画（案）
 OFOLLOW UP課題 「実用精度の洪水予測システム作成手法の開発」

検討課題	1997					1998					1999					2000																
	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5
I 貯留関数モデルの確立 1) 1996洪水によるモデル検証・再固定 2) 定数固定型モデル 3) F選択モデル 4) 国家管理河道のフィードバックモデル 5) ソースプログラム群の整理・DOCUMENT 6) 流域上流一定数固定型モデル 7) F選択モデル 8) 現時刻合せモデル 9) P選択モデル 10) 現時刻合せモデル																																
II 予測結果選択システムの開発 1) 新安江モデルの再固定 2) 補完モデルの開発 3) モデル設計 4) 重回帰分析 5) 重回帰予測モデルの作成 6) 選択手法の設計 7) 予測モデル群の統合設計 8) 流出解析型 - 貯留関数モデル 9) 新安江モデル 10) 経験法案 11) 統計処理型 - 重回帰モデル 12) 選択システム・プログラミング																																
III テストランと改良 1) 一次テストラン～定数固定型モデル 2) プログラムの構築 3) 実洪水負荷状態でのテストラン 4) 問題点の改良 5) 二次テストラン～予測結果選択システム 6) プログラムの構築 7) 実洪水負荷状態でのテストラン 8) 問題点の改良																																
IV 遊水地の氾濫解析 1) 基礎調査 2) 二次元不定流シミュレーション 3) サブシステム化の検討																																
V 総合評価とDOCUMENT 1) 洪水予測分野の総合評価 2) DOCUMENT 3) システム開発ガイドライン																																



JICA